

1-2 運営体制

●芸術文化施設の運営形態

芸術文化施設の運営形態（委託・直営）を設置主体別に集計したのが【表3】である。地方公共団体の直営で運営している施設が芸術文化施設2,941館中1,882館と64.0%を占め、財団などへの委託が34.9%（1,027館）となっている。

また、設置主体別に見ると、都道府県設置施設で委託が64.8%、政令市で委託が72.1%といずれも委託比率が高くなっているのに対し、市区町村設置施設では委託28.9%、直営70.2%と直営館が極めて多く、設置主体の規模が小さいほど直営比率が高くなる結果となった。

【表3】芸術文化施設の設置主体別運営形態（委託・直営）

設置主体	直営	委託	無効	総計
都道府県	69 (31.9)	140 (64.8)	7	216 (100)
政令市	64 (27.5)	168 (72.1)	1	233 (100)
市区町村	1,749 (70.2)	719 (28.9)	24	2,492 (100)
総計	1,882 (64.0)	1,027 (34.9)	32	2,941 (100)

※（ ）内は構成比

●運営組織

芸術文化施設の施設タイプ別に常勤職員と専門職員の数を集計したのが【表4】である。常勤職員の総計は18,655人で、1施設あたりの平均職員数は6.8人となっている。プロパー職員数は総計5,376人で、1施設あたりの平均は5.0人だった。施設タイプで比べると、ホール・美術館複合施設で平均職員数が9.5人と最も多かった（プロパー職員数についても同様）。

また、専門職員として芸術監督を擁している施設は23館（計26人）、プロデューサーを擁している施設は33館（計50名）であった。こうした専門職員については、ホール単体施設とホール複合施設に多く、全体の96.0%にあたる73人がここに集中している。

設置主体別に常勤職員と専門職員の数を集計したのが【表5】である。常勤職員の内訳は、都道府県設置施設7.2%（1,338人）、政令市8.5%（1,594人）、市区町村84.3%（15,723人）となっている。1施設あたりの平均職員数で比べると、常勤職員数、プロパー職員数ともに大きな差はみられなかった。

【表4】施設タイプ別常勤職員・専門職員数（平成12年4月現在）

施設タイプ	常勤職員	プロパー職員	プロデューサー	芸術監督	学芸員
ホール単体	7,809 (6.5)	2,252 (4.8)	30 (1.6)	13 (1.0)	28 (1.3)
美術館単体	1,715 (6.6)	497 (5.0)	1 (1.0)	2 (1.0)	712 (3.5)
練習施設単体	244 (7.4)	81 (8.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.0)
創作工房単体	376 (6.6)	96 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ホール・美術館複合施設	323 (9.5)	98 (7.0)	0 (0.0)	3 (3.0)	100 (4.2)
ホール複合施設	7,640 (7.1)	2,211 (5.3)	19 (1.5)	8 (1.1)	122 (2.3)
美術館複合施設	334 (5.8)	73 (4.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	133 (3.2)
練習場・創作工房複合施設	214 (5.4)	68 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (2.3)
総計	18,655 (6.8)	5,376 (5.0)	50 (1.5)	26 (1.1)	1,121 (3.2)

※（ ）内は施設あたりの平均値。平均は有効回答数を母数として算出

【表5】設置主体別常勤職員・専門職員数（平成12年4月現在）

施設タイプ	常勤職員	プロパー職員	プロデューサー	芸術監督	学芸員
都道府県	1,338 (6.6)	352 (5.3)	10 (1.7)	7 (1.0)	474 (6.1)
政令市	1,594 (7.3)	337 (4.6)	2 (2.0)	3 (1.5)	137 (5.7)
市区町村	15,723 (6.7)	4,687 (5.1)	38 (1.5)	16 (1.1)	510 (2.0)
総計	18,655 (6.8)	5,376 (5.0)	50 (1.5)	26 (1.1)	1,121 (3.2)

※（ ）内は施設あたりの平均値。平均は有効回答数を母数として算出